令和７年度　やまがた社会貢献基金助成事業　活動報告書

団体名	山形交響楽団応援県民会議		
事業名	“Music Library Project”･･･創立名誉指揮者 村川千秋の軌跡を次代に継承していく		
助成事業区分	団体支援助成事業		
団体の所在市町村	山形市	事業費	3,255,126 円
		うち助成金額	1,425,000 円
事業実施期間	令和７年９月１日～令和８年３月３１日まで		

事業目的・実施内容

（事業目的）

＜“無”から“有”へ・・・山形の地に山形交響楽団を育んだ村川千秋＞

若き日の村川は、圧倒的な地域格差を経験する。首都圏と地方都市で享受できる体験・教育の格差。学生時代に日本を代表する指揮者近衛秀麿と出会い、音楽家を志す。東京芸大、インディアナポリスでの学びを経て、故郷山形に山形交響楽団を創設した村川千秋の足跡を辿る。

＜“全ての子供達へ本物の音楽の感動を届け続ける”・・・未来へのメッセージ＞

2025年６月25日、92歳で逝去した村川。生涯を貫いた思いは①全ての人が知識を得られる図書館のように全国にプロ楽団を作りたい②子供たちに本物音楽の感動を届けたいに集約される。この想いを受けた山形交響楽団は、未来を担う子供たちに“本物の音楽の感動”を届け続ける決意と村川のDNAを次代に継承するべく、未来に向けたメッセージを発信する事業を企画する。

＜Music Library Project・・・美を体験する美術館でのコンサートと連携＞

“図書館で知識に出会うように音楽と出会う”ことを願った村川の想いを本プロジェクトで継承していく。恒例となった山形美術館と真下記念美術館でのアンサンブルコンサートは継続。美術と音楽とのコラボレーションによって、より広い層の聴衆を拡大することで、未来の聴衆を育んでいく。

（実施内容）

① 創立名誉指揮者　村川千秋の想いを継承するコンサートを開催した。

○開催日時：2025年11月９日（日）15:00開演　　○会場：山形市民会館　大ホール

○出演：阪哲朗（山響常任指揮者／村川とは毎年５月の村山公演で共演を続けた）
　　山形交響楽団、村川千秋の薫陶を受けた教え子たち

○内容：村川の足跡を辿る映像、子供たちに愛される組曲など、事業趣旨に記載した内容を具現化して、未来へのメッセージを届ける内容とした。（来場者：1,067人）

② 山形美術館・最上川美術館で企画展等と連動したコラボコンサートを実施した。

○最上川美術館（3/7(土)、弦楽二重奏、来場者:約40人）

○山形美術館（3/20(金・祝)、弦楽四重奏、来場者:約100人）

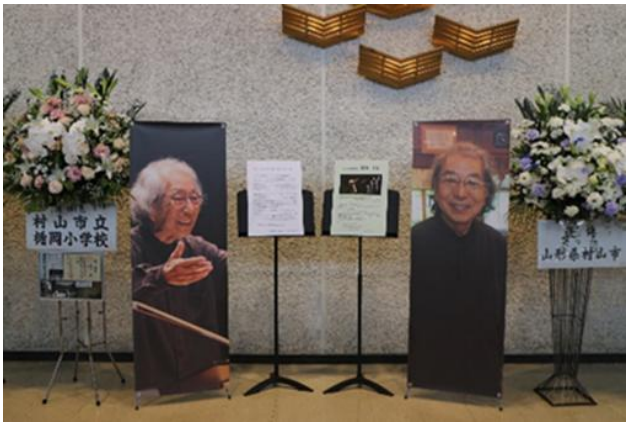


3/7「最上川美術館」（村山市）



3/20「山形美術館」（山形市）

事業の成果	＜山形の文化芸術を育み、村川が蒔いた種がより大きな実を実らせていく＞ 　今回の事業を通じて、日本で最も小さな都市を拠点にする山形交響楽団の存在感をあらためて県民と共有。無から有を生み出した村川の想いを継承していくことで300万人の子ども達が体験したスクールコンサートの持続など、未来に繋がる想いを継承していく機会となった。 （数値目標）〇演奏会入場者数1,200人 （オーケストラ1公演+アンサンブル活動2公演合計） ＊村川千秋が指揮した公演の映像配信も別途行う予定：視聴者1万人以上を想定＊ （実績）〇演奏会入場者数　1,207人（オーケストラ１公演＋アンサンブル活動２公演合計）となり、目標を達成することができた。
今後の展望	村川は常に「100年後」を視野に入れていた。創立50周年記念公演では“100年存続しないと盤石とはいえない”と語り、山響が県民の誇りとなり、世界に羽ばたかせる夢を抱き続けた。上述のビジョンに基づき、海外交流、海外発信（欧州プラットフォームと契約済み）などを積極的に推進していく。



正面入口ロビーに村川千秋氏の拡大写真を展示


村川氏が最も力を注いだシベリウス作品の演奏


多くのお客様が村川千秋の軌跡をご覧になりました

団体概要

団体名　山形交響楽団応援県民会議
代表者　会長　矢野　秀弥

★山形交響楽団の演奏会日程や最新情報はＨＰをご覧ください。
URL　http://www.yamakyo.or.jp

令和７年度山形県ＮＰＯ活動促進補助事業

収支精算書

事業の名称	“Music Library Project”･･･創立名誉指揮者 村川千秋の軌跡を次代に継承していく
団体名	山形交響楽団応援県民会議

１ 収入の部

（単位：円）

区分	精算額	内容
県補助金	1,425,000	令和７年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入	969,000	@1,000円×969人
その他収入	861,126	山響
自己資金		
合計	3,255,126	

２ 支出の部

（単位:円）

区分	精算額	内容
謝金	33,411	司会謝礼
旅費	86,430	指揮者・出演者旅費
印刷製本費	295,058	チラシ、プログラム作成・印刷、掲示写真印刷
消耗品･材料購入費		
通信運搬費	22,330	招待状、案内状送付
保険料		
使用料	272,390	会場使用料、スクリーン・プロジェクター使用料等
人件費		
(委託費)	286,300	広告掲載、映像編集、会場整理員委託
(備品購入費)		
(修繕費)		
その他	2,259,207	山響出演料、助演者出演料、販売手数料
合計	3,255,126	